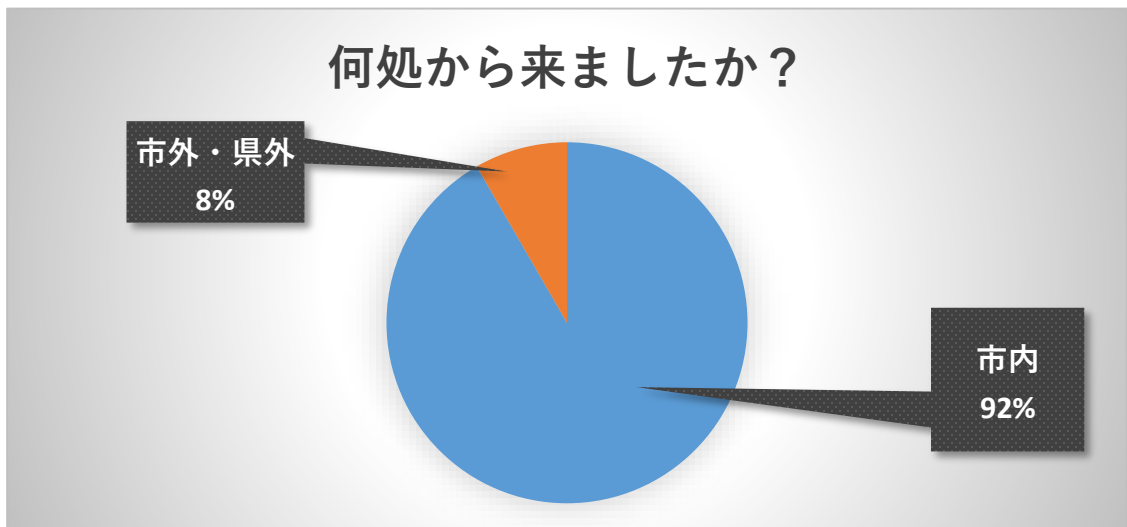
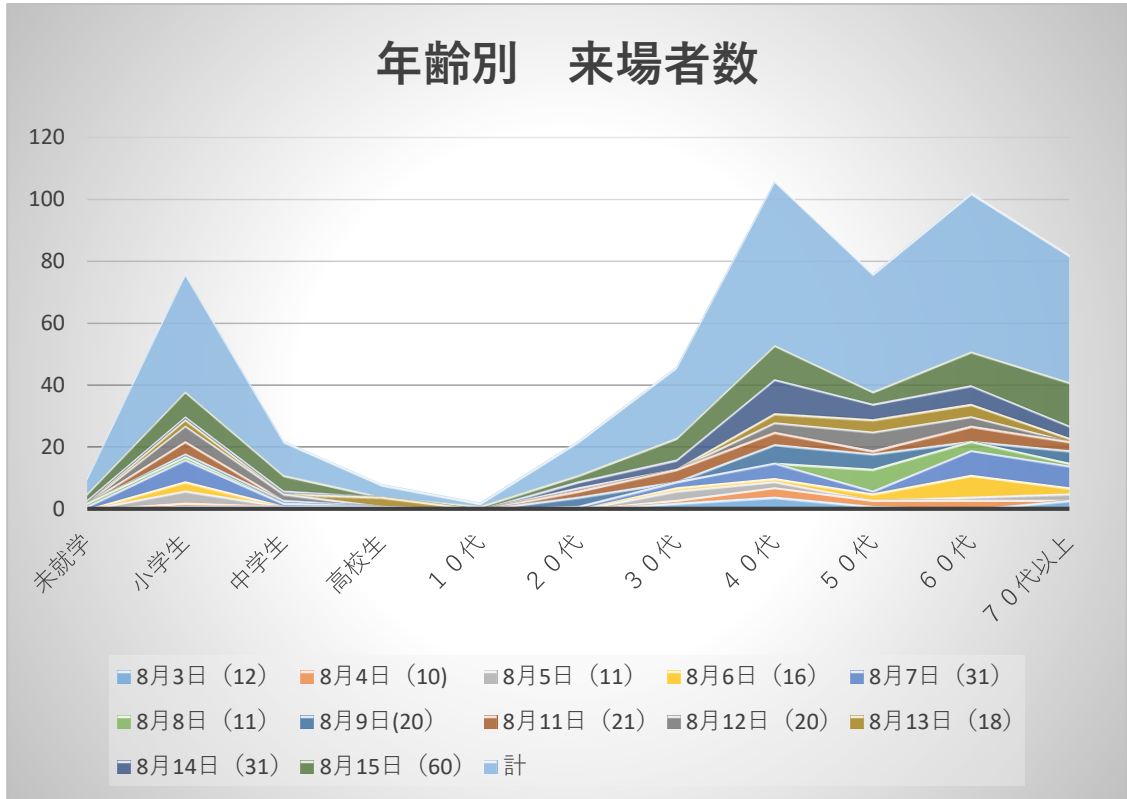
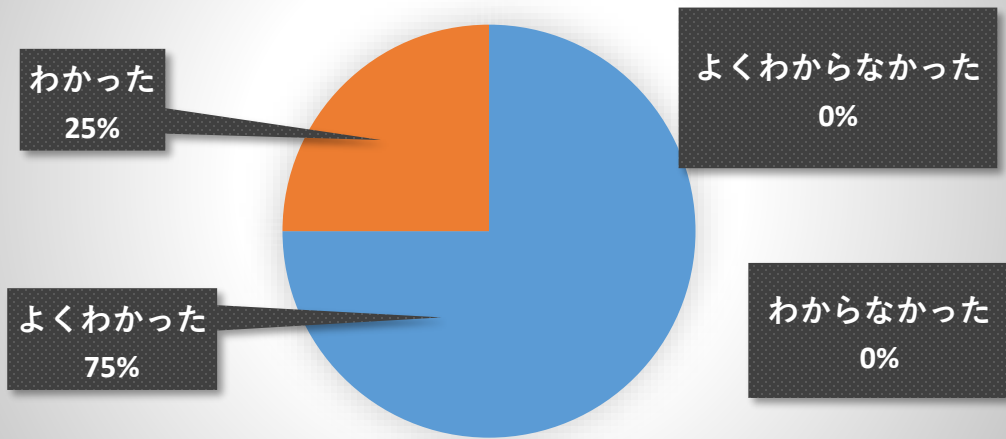


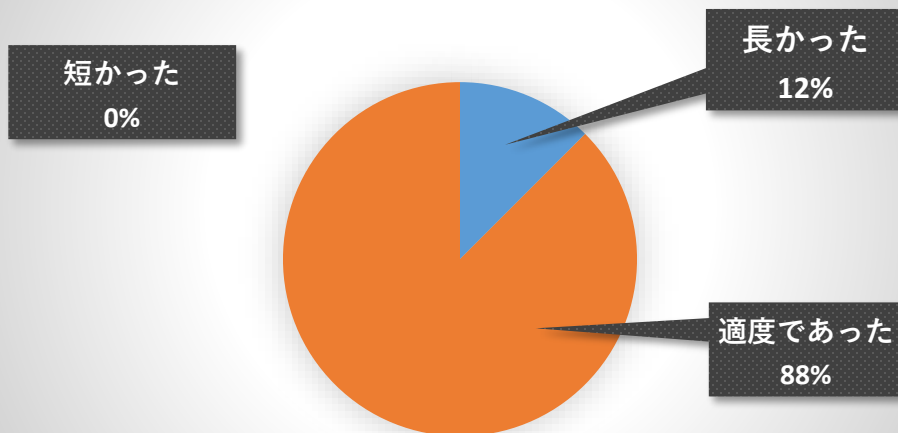
令和3年度別府市「平和を考える市民の広場」 来場者アンケート集計



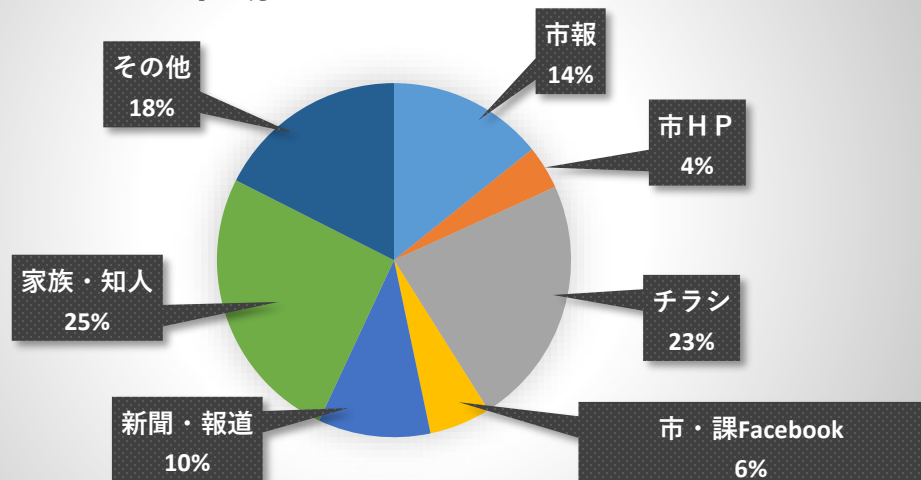
内容はわかりましたか？



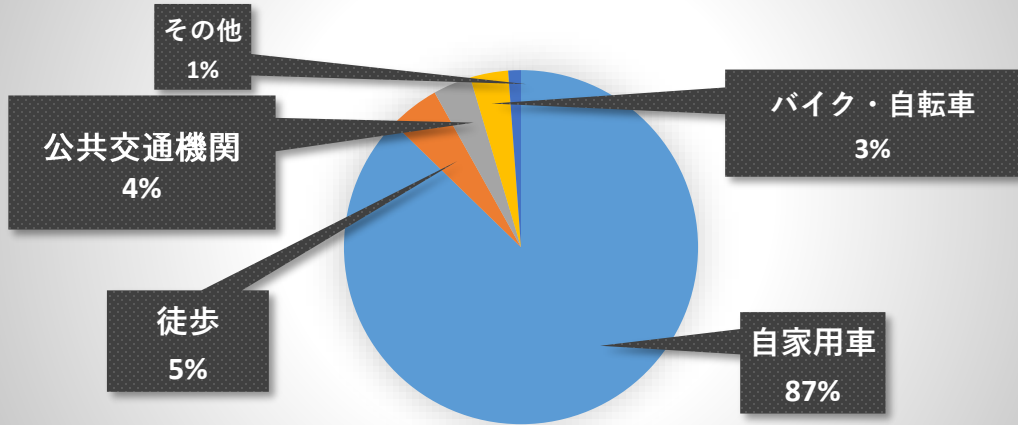
動画時間の長さは？



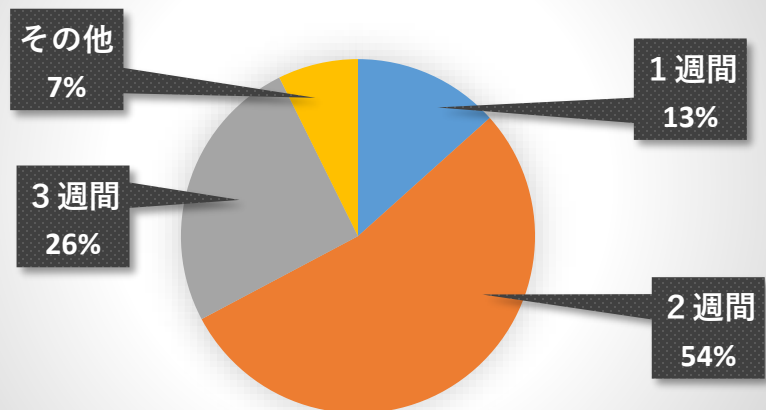
来場のきっかけは？



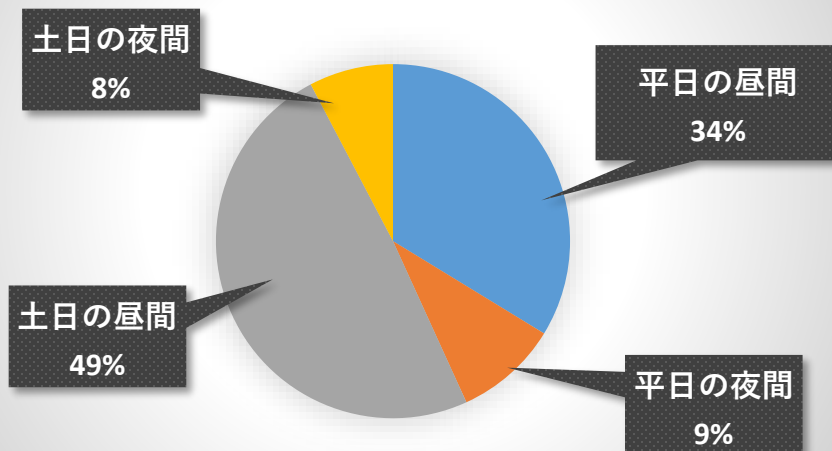
来場の交通手段は？



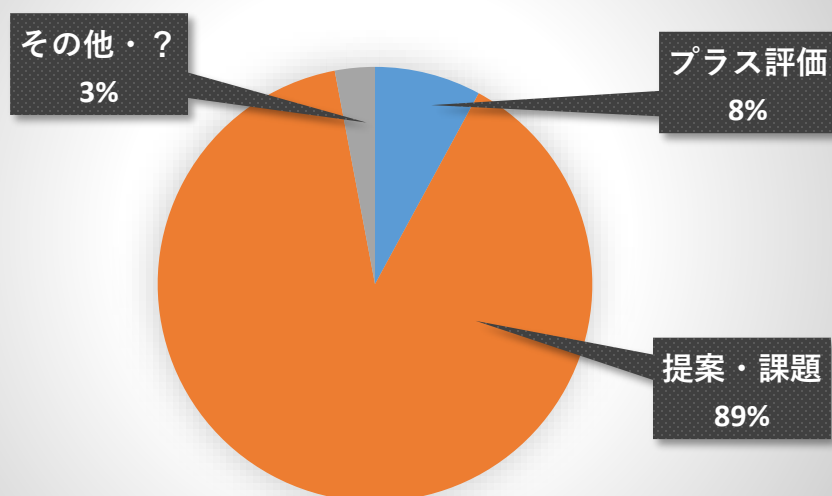
開催希望期間は？



開催希望日時は？

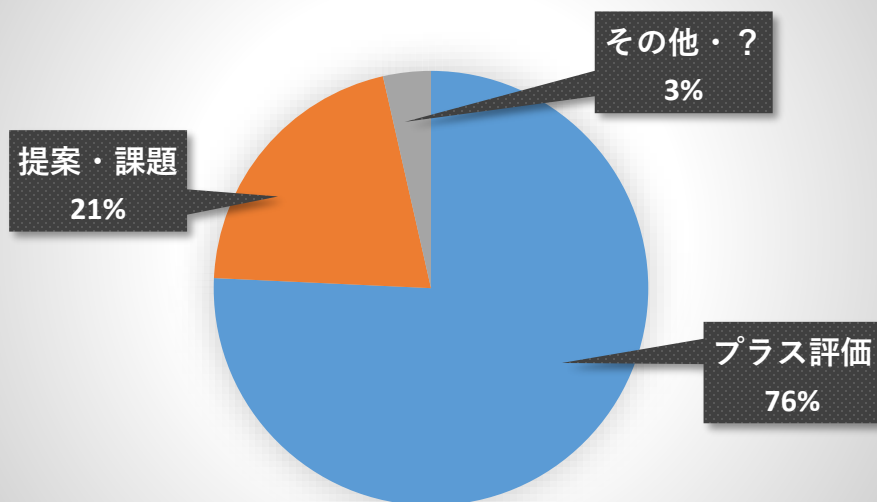


今後の希望・提案等について



別添資料1 「平和学習の場で取り上げてもらいたい内容について」のとおりに

意見・要望について



別添資料2 「『平和を考える市民の広場』に対するご意見やご要望について」のとおりに

資料1【平和学習の場で取り上げてもらいたい内容について】

- ・別府市の戦時中についてもう少し詳しく取り上げてもらいたい
- ・当時の生活の様子を伝えたり教えてもらいたいです。
- ・軍艦や航空機の紹介
- ・人々たちの思い
- ・戦争体験語り部
- ・語り部の映像はとても貴重です。これからも続けてほしいです。
- ・その後、人々に与えた影響を知りたい。
- ・多様化する人権問題について
- ・大分県内の体験談（太平洋戦争）
- ・学校で8月が来ると取り上げるのではなく、季節関係なく原爆についてやってほしい。
- ・この企画で良いと思います。
- ・子どもにわかりやすい模型などを使う。
- ・ビデオでも構わないので、体験者の話を若い人に聞いてもらったらよいのではないか。
- ・本企画展示のすべて
- ・これからの道
- ・戦争体験者の生の声
- ・日本のみならず海外のもの。
- ・市民の生活状況は？（戦時中の）
- ・全国的な学習にしてほしい。8/6,9,15は全国民がしっかり受け継ぐべき。
- ・当時の様子
- ・特攻隊について
- ・どれだけの人が死んだのか。
- ・様々な人たち（立場）年齢層の思いを。
- ・命の大切さ。

- ・戦争の恐怖。平和な世界を目指す方法。
- ・広島、長崎の当時の子ども達のこと
- ・地域の人たちの戦争体験、別府なら引揚者の特集
- ・体験談
- ・高齢者の思い出を子どもたちに話てやりたい
- ・当時の写真と動画
- ・広島・長崎での子どもが携わっている活動について。被爆地でないとわからないから。
- ・戦後の人々の暮らしなど
- ・戦争を体験した方の実際の声。直接話を聞ける機会。
- ・今なお世界で起きている紛争やそれによって影響を受けている子どもたちの姿を見せてほしいです。
- ・戦争・紛争の歴史
- ・特攻隊の悲劇も伝えてもらいたい
- ・VR
- ・小さい子にもわかりやすい、ひらがなの説明とかもあれば良いと思いました。
- ・せんそうの絵
- ・原爆禁止の署名活動も兼ねてほしい
- ・やみ市
- ・原爆のおそろしさ
- ・戦争の為に失った命、生活、財産
- ・写真パネルなど大変よく集められていた
- ・学徒動員
- ・原爆歴史
- ・わかりません
- ・親子で参加できる講演
- ・今回のような戦争の恐ろしさを知れる内容
- ・高校生が描いたヒロシマの絵を見ての感想、交流

- ・なぜ戦争をすることになってしまったのか？
- ・別府におけるGHQ・町・温泉について深掘してほしい
- ・核兵器禁止条例？になぜ日本が同意しないのか。国の方針はどこにあるのか。
- ・日本の難民支援について。疎開の現実。
- ・とっこうたい
- ・体験談、日記など
- ・大分県内の被災と戦時中の様子
- ・せんそうは人をころすのでやめた方がいいと思います。
- ・戦争の被害、出来事、（戦争が起きた）きっかけ。
- ・平和であることの意味、市民としてできること。
- ・大分県内の戦時中の状況
- ・別府の戦争について毎年やってください。
- ・戦争は決して起こってはならない
- ・小学生向けの企画を。
- ・世界平和のために手と手を取り合って、助け合っていく社会を築いていくことの大切さを教えていただきたい。
- ・現状で良い。
- ・もっともっと戦争の悲惨さを表現して戦争の無意味さを教示してほしい。
- ・別府大分の話をもっと聞きたいです。
- ・ミャンマーやパレスチナなど海外で起きてることについて。
- ・小中高ではあまり取り上げられないより具体的で詳しい内容。
- ・別府市でどんな生活だったか実際に防空ごうに逃げていた話等。
- ・アップダウンによる原爆継承漫才
- ・被爆者のその時見たものなどを直接聞く。
- ・大分の方の戦争の体験について、くわしく知りたいです。
- ・市の歴史
- ・戦争中の生活

- ・今回のような地元の方の声をもっと子ども達に伝えたい。
- ・戦争体験者の声をもっと聴いてほしいと思います。
- ・もっと若い人が集まるような内容
- ・大分県内の空襲について
- ・貧困
- ・戦争時期を生きた方のお話、映像、写真（当時を伝える本物があるといろいろ考えられます）。
- ・戦争の恐ろしさを絶対に忘れないためにつないでいく事の大切さを若者、学生にこの動画を見てほしい。
- ・どんなぶきをつかったか
- ・戦争中の生活
- ・戦争のおろかさ、核兵器の悲惨さを色々な工夫で子ども達に届け続けていただきたいと切に願います。
- ・国家の体制を守るために庶民の幸福を踏みにじる連中の存在について
- ・戦争をすること、平和の大切さ。
- ・戦後の別府は多くの傷ついた人、孤児などがいたと聞きます。元々、療養温泉都市の別府ならではのと思う。”戦後の傷みに寄り添った町”として、戦後の別府をより知りたいと思う。
- ・防空ごうに入ってたけど記憶になし。見たり聞いたりの場合、これからもしてほしい。
- ・現在の日本政府の核兵器に対する政策とその理由
- ・原爆を身近な戦争がつながっていることを感じた展示でした。
- ・どうしてこういう戦争が起きたのか子どもたちに簡単にわかる様な内容
- ・別府が戦中、戦後に果たした役割。
- ・今回身近な人の戦時中の話が聞けてよかったです。

資料2 【「平和を考える市民の広場」に対するご意見やご要望について】

- ・今、コロナ禍でいろんな制限を受け、少なからず不便な生活を強いられています。戦時中に生きた方々に比べると比較にならないものだと思いますが、「1日も早く日常が戻りますように」「平和な世の中が戻りますように」という願いは同じような気がしました。
- ・「鶴見橋」が印象的でした。
- ・胸がつまった。
- ・胸が痛くて書けない。「平和を考える市民の広場」を編集した方を尊敬します。
- ・原爆の絵を展示して頂く際に広島地図と一緒に展示してほしいです。絵の説明に土地名や川の名前が出てくるのに理解し辛いです。広島土地勘がなく、すみません。
- ・以前見たものも、今回初めて見た高校生の絵もあったが、いずれもとても考えるところがあった。今はコロナで大変だけどこれまで先人達が守ってくれた平和のありがたみを痛感した。
- ・改めて平和の大切さに気付かされました。
- ・別府の古い写真を使ったビデオがわかりやすかったです。
- ・とても素晴らしいと思いました。
- ・高校生が描いた共同作品の絵のすごさに驚きました。多くの方々に見てほしいです。
- ・改めて人間の愚かさについて学ぶことができました。このような機会を通じて自ら平和に対する考えを明確にしていきたいと思いました。たくさんの情報提供、準備等々ありがとうございました。
- ・戦時中、戦後の大変な時代について想いをはせ、今の平和の大切さを知り、感謝することにつながりました。戦中戦後を生きた方々の苦労の上に今の平和な時代があると思います。よい企画と思います。パネル展のみでなく、映像での証言が真実が伝わりました。
- ・動画の採用はとても良いと思う（市民の動画）。貴重な経験者の体験談、声だった（市民の動画）。もっと当時の写真や資料を差し込むとわかりやすいと感じた。ありがとうございました。
- ・別府市民として日本全国的でなく別府史として取り上げていることに興味を持ち来館しました。時を繋ぐ内容で、少しでも時代を知る事ができたと思います。いつの時代もリーダー（人は）変わらない。繰り返すのですね。
- ・経験が無いことで、子どもたちに伝えることが難しい話。こういう場所を作ってくれてありがとうございます。
- ・怖かったけどためになりました。
- ・もう少しテーマを持ってインタビューしてほしいです。

- ・戦争を知らない若い人々に今ある平和の下にあった戦争の悲惨さを知ってもらい戦争のない事を念じます。
- ・平和を考える場を定期的に行ってほしい。
- ・胸をしめつけられる思いがしました。忘れてはならないこと、語り継いでいかないといけないと思いました。
- ・現代の若い人に知ってもらいたい。原爆の恐ろしさを知ってもらいたい。
- ・若い世代にもっと知ってもらいたいと思います。
- ・せんそうはこわい。なんでせんそうするのかなあ。みんな、なかよくがいい。
- ・せんそうの話がいっぱいあって、すごかった。おかあさんまってがなんかかわいそうだった。
- ・せんそうはみんなの命をうばって平和だった広島、長崎がじごくになったのがちょっと心が、苦しくなりました。
- ・（コロナ禍でなければ）より多くの児童生徒に見学してもらいたい。有意義である。「歴史の記憶」を伝えることは大切。毎年開催してもらいたい。1950年代の別府及び別府湾（空母はしばしば寄港していた）。朝鮮戦争時の負傷兵多数が、この基地で療養していた。写真も多数あるはず。例：鶴見丘高校同窓会に問い合わせ。
- ・大変に貴重な動画である。NHK大分、OBSで放映、学校教材にCDを配布してもらいたい。
- ・大切な活動だと思います。忘れる事なく心の中で持ち続けて行きたいと思います。
- ・別府市民の戦争体験者のビデオはとてもよかった。出来たら、各小中学校へ巡回してみせてあげてほしい。「高校生が描いたヒロシマ」には胸が痛くなった。是非是非、子ども達が絵を通して感じてほしい。子どもは（少数かもしれないが）、ゲームやマンガにより「人を殺す」ということに無頓着になって来ている気がする。平和（穏やかな普通の暮らし）がいかに貴重で大切か改めて自認する機会として、各自治会へも啓発してください。
- ・別府のことかと思ったら、広島のことだったんですね。こちらの人間でないので特にはないです。
- ・広島原爆の日でもあるし何となく立ち寄ってみました。当時のお話を映像で見て、わからないなりに想像して胸が痛くなりました。大変良い企画だと思います。たくさんの世代の方に見ていただきたい。
- ・もっとたくさんの方々に発信してください。平和が当たり前の時代に生まれ育った若者にも是非見てもらいたい。知ってもらいたい。
- ・若い方や子どもたちにも見てもらえたらよいと思います。少しでも多くの方に見てもらいたいと思うのでSNSにアップしようと思います。別府の戦争中や前後の状況を学ぶことができ、大変貴重な機会でした。ありがとうございます。
- ・こういう取り組みは地道だけどずっと続けてほしい。別府の良いところだと思います。
- ・体験を聞いて描くというにしても、こんなにリアルに描くにはたくさん詳しく話を聞かないと難しいはず。被爆者の方々との熱心なやり取りの成果として価値ある記録。高校生たちにとっても貴重な体験であったと思った。

- ・アメリカだけでなくドイツナチス、そして日本も、戦争は人間を狂わせてしまう。加害者を恨むのではなく、戦争そのもの。そして時の政者。絶対に戦争をしないようにあらゆる努力、知恵を使うべきだ。
- ・ご苦労様です。お互い頑張って平和の尊さを伝えていきましょう。このような資料・写真などネットで見れるようにしてくれるといい。学校の平和学習で使用したい。
- ・原爆が広島と長崎に落ちたことは知っていますが、今日の絵を見て大変驚いています。これほどひどいとは、どのように表現してよいかわかりません。二度と起きてはいけません。
- ・戦争のない世界にするためにも、戦争の悲惨さを子どもたちに知って欲しい。高校生の絵が素晴らしい。
- ・このような展示は毎年続けてほしい。
- ・日本沈没と感じる今日この頃である。核兵器なしに一番に賛成するべきであると思うのに何で？政府に不信を感じる。孫は戦争に絶対に送らない。
- ・もっと多くの人に来るようになるといい。人を集める工夫を。
- ・子どもたちに平和授業を続けてください。
- ・年々、戦争経験者が減っていく中で、今回のような会をやり続けて行き自分たちが76年前に起こった事実を伝えていかなければと思います。
- ・太平洋戦争は、昭和天皇と当時の日本の経済力が悪くて愚かな行為だったことを現在の国民に知らせ、二度と戦争はあっては行けないことを願うばかりです。
- ・色々当時の思いなど苦しい程、伝わりました。小学校の娘が平和授業後だったのでしっかり学べたと思います。
- ・子どもと一緒にこのような開催がある日でよかった。
- ・戦地の絵ハガキ・名だたる画家たちによる戦地の様子を描いた絵ハガキが印刷されていることに驚きました。当時の様子を知る貴重な記録です。高校生の描いた広島の絵・見たはずの光景を本当にリアルに描くことができるということのすごさ、体験していなくても、その苦しみを再体験しているようです。
- ・忘れてはいけない過去の悲惨な事実を伝えて頂きたいです。
- ・続けていただくことがありがたい。
- ・戦争を体験なされた記録を沢山の方々に知っていただけるようにと願います。
- ・平和でありたいです。
- ・なかなかふれるチャンスがないのですが、平和は日頃から意識して行動に移すことが大事だと常に思います。人を思いやる気持ちから

始まると思います。

- ・初めて来たので今後も見に来ようと思う。
- ・当時の動画を流してほしい。
- ・広く知らせて頂ければ来場者も増えるのでは。
- ・世界から核をなくし平和を祈るのみです。
- ・戦争をしらない世代となり語り部が必要だと思います。
- ・これからの未来の為に若い年代にこそ必要。直接話を聞く機会は減り、こういう機会がないと考えることがなくなる。
- ・自分が知らなかったことなど平和というものは改めて大切な人だと考えさせられた。これからの学習につなげていきたいです。
- ・8月は平和について考える月として子どもの頃から過ごしています。子どもにも受け継いで行きたいです。このような企画をして頂いてありがとうございます。
- ・素晴らしい企画、素晴らしい運営でした。お疲れ様です。ありがとうございました。
- ・より多くの企画等を望みます。子ども達にも判りやすいものだと嬉しいです。
- ・当時の別府・空襲を逃れた別府がどんな風景だったのか見てみたい。今日少しだけ当時のお話を聞く事ができて興味を持ったが、もう少し映像・資料などあるといいなと思ったが現存しないのですね。
- ・絵がうまい
- ・平和について、改めて考えるきっかけになった。
- ・ここに来るまでやっていることを知らなかった。多くの人に見てもらいたいなら色々な他の物やイベントとのコラボとかいいのでは。
- ・親子で平和のこと戦争のことを話すきっかけになり、ありがたかったです。
- ・みたくなかった死ぬのが見たくなかった
- ・放映時間が短いのももう少し長くしてはいかがでしょうか？広報について、市報も良いがなかなか見ないのでこれだけのチラシを配って広報してはいかがでしょうか？展示物が少ない。
- ・とても考えさせられました。自分でも調べてみます。ありがとうございました。
- ・戦時中の別府市の新聞記事は貴重な歴史。ご高齢の生存者の具体的な証言は学校や食料、防空壕などに整理されての映像説明で大変わかりやすかった。
- ・広島の高校生が見つないでくださる事に感謝します。
- ・企画をこれからも続けていただきたいです。

- ・ 掲示物、特に新聞等のコピーが多くありすごかった。ビデオ等で内容がよくわかった。
- ・ とても素晴らしい内容であると思います。是非続けてください。
- ・ こわかった。
- ・ 広島、長崎だけでなく身近な方（別府）の体験を聞くことが出来、親子で平和について話すことができました。帰路もゆっくり話そうと思います。昨年に引き続き、今年も開催いただきありがとうございました。
- ・ 今生きている方の本当の戦時中のこと、私はじいちゃんから聞いてましたが、子ども達に少しでも伝えたいと思いました。松本先生のお話を以前うかがい、もっと沢山に聞いて欲しいと思っていたのでこのような現実があったこと今の子ども達に毎年伝え続けたいです。
- ・ 素晴らしい企画だと思いました。広報を増やして、たくさんの人に来てもらいたいと思いました。
- ・ 子ども向けの図書を読ませていただき、親子共々勉強になりました。
- ・ 別府市民の当時の話が聞けて良かったです。
- ・ とても良い企画、多くの人にもっとアピールして見てほしい。これからも続けて欲しいです。
- ・ 実際に戦争を体験された方（市内の方）にお話を伺うことが戦争を忘れない為、必要だと学びました。
- ・ 私自身、戦後生まれで戦争の事をよく知らないのに、孫たちはさらに遠い過去の事となり、戦争の事がますますわからなくなると思います。少しでもこういう機会に”知る事”で平和への思いを強くして欲しいと思い、孫4任を連れて来ました。少しでも考える事が出来たら良いと思います。
- ・ 広島の高校生の絵が胸を打った。高校生が被爆された方のお話を聞き、絵に表現する、その光景を想像するだけで胸があつくなる。原爆の光景を想像することはつらいことだったろうと思う。二度と核兵器を使うことのないようにとの願いを強くした。
- ・ 動画を楽しみにしてました。映像がブレたり音が入っていたりクオリティは良くない。別府の生き証人をアーカイブすることは今しかできないラストチャンスなので、8月のみのことではなく、今後とも市の大学が研究、後世に残してほしい。傷病者をいやした別府温泉原爆センターのことなどもっと知りたい。
- ・ 非常に意味のある企画でした。特に高校生の描いた絵は聴き置きと言えるもので、歴史体験の継承性をうかがうことが出来ました。
- ・ 別府の戦時中の様子が映像で具体的にされていて戦争は二度と起こしてはならないと感じました。ありがとうございました。
- ・ 毎年8月になると戦争・平和の事を深く考えさせられます。今回別府の戦時中の事はとてもそういう時の事を想像できました。広島の高校生の絵は話を聞いて描いたと思えない位リアルに描かれていました。今はコロナ禍ではありますが平和が一番ですね。安心した日々を送りたいです。
- ・ 今年は学校で平和集会がなかったので、平和について学べて良かったです。

- ・戦争の恐ろしさ、平和であることのありがたさを伝えなくてはいけないと思います。会場までこれない方もいるので、学校でも展示してもらえると、多くの子ども達にも伝えれるのではと思います。
- ・平和について改めて考えさせられる機会となりました。ありがとうございました。
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・記憶のうすれる原爆や平和のことについて改めて考えさせられました。
- ・字幕をつけてほしい
- ・なにごとにも人やしょうがい物をこわさずへいわになかよくいろいろな国と平和にしていきたい。
- ・小中高生が来やすいような仕組みをつくってほしい。
- ・この先も平和であり続けてほしいと心から願います。ありがとうございました。
- ・高校生の絵に心打たれました。素晴らしい取り組みです。広く知ってほしいと思いました。
- ・高校生が描いたヒロシマが感激しました。若い人に平和を守り続けることの大切さを知れる機会をたくさん作ってください。
- ・今日の日本は平和にみえるけれど、知らないところで少しずつ戦争へと近づいているように感じています。小さな違和感を見過ごさずにいたいです。子ども達と一緒に、展示をみることができこのような場があって、ありがたいです。
- ・とても良かったです。もっとじっくり見たかった。
- ・とても素晴らしいと思います。
- ・せっかくの絵ですが、あまり見る気にならなかった。テレビで報道されたのは良かった（13日夕方NHK）。企画、お疲れ様です。二度と起こしてはいけない、戦争、核、伝えていかねばです。
- ・悲惨の一語につきる戦争を二度と起こさない、起こさせないことを市民が伝え思い継がれることの大切さを改めて知りました。
- ・解説動画を見た後で、学生さんが描いた絵を見たので、絵に込められた思いなど知る事ができ大変良かったと思う。
- ・戦争、原爆、悲しみを今日もまだまだ先の世まで忘れ去ることなく…。なぜこの様なことになる事を防げなかったのだろうか。生死を越えた話し合いは…。野の中に不可能なこと、沢山…。
- ・大分県内にいける戦争時の状況、経過、軍の動きなどを取り上げた企画を行ってほしい。戦後における歩みも含めていただければ…。
- ・20～30年すると戦争の体験者の話を直接聞くことはできなくなる。体験談を音声に残してほしいと思います。
- ・他の都道府県、国々の人にも見ていただきたいと思いました。翻訳や、聞き取りやすい言語化が必要。Youtube配信も良いかも。多くの人目の入る工夫が必要。
- ・体験者の話を高校生が自分の中に消化した上で作品を描いたのが素晴らしい。この企画展を開いた皆様に敬意を表します。

- ・被爆者から直接話を聞いた高校生たちの心を一度通り抜けて表現された絵の迫力、大きなものでした。悲劇を二度とおこさない為にこのような取り組み、表現、発表の場を続けていくことは大切と感じました。
- ・いわゆる広島長崎ではなく別府での具体的な話や記事が興味深かった私の年代でもほぼ大分に関しては戦中戦後の知識は乏しいです。アメリカ進駐軍やチッカマウガも言葉として知っている程度。今回記事や写真で見ることができて、とても身近に感じる事ができた。学生時代にもっとこんな教育があってもよいのでは？と思います。
- ・この様な広場を開催して頂き有難うございます。これからは戦争体験者の方々が少なくなる一方でこの広場は色々な情報を後世に残す為に必要不可欠なことなので是非とも継続をお願いします。
- ・平和について考える良い機会となりました。有難うございました。
- ・素晴らしい展示でした。多くの人に見ていただきたいと思いました。
- ・頭で考えるよりずっと感じる事ができました。まだ自分の知らないことが多くあることを痛感します。
- ・小学校の修学旅行で訪れた原爆史料館以来の衝撃でした。忘れてはいけないと思ってても、危機感は薄れていくんですね。「高校生が描いたヒロシマ」の企画、とても素晴らしいと思います。これからもこのような活動を応援してます。
- ・被爆者の証言を丁寧に聴き取り絵に描いていった高校生たちの努力に頭が下がります。証言を語り継ぐことの大切さと同時に視覚的に伝えられる絵の力を感じました。
- ・今回初めて参加しました。たくさんの方が来たらいいなと思いました。
- ・動画を見る事で、より当時の様子を知ることが出来たと思います。当時を生きた方たちの声を多く残す必要があると思いました。他の地域の話ではなく、今住んでいる別府の様子を聞いたのでより具体的に理解できました。
- ・具体的で詳しい事実を共有することで平和を考える機会を定期的に継続して頂けるとありがたいです。別府は留学生が多いので、そのような学生にも来てもらうような広報にも力を入れてみてはいかがでしょうか。
- ・夏休みの開催ですが、小学校や中学校でも勉強できる機会があれば良いなと思います。年に数回だけの平和学習では子ども達もよく理解できていないと思うので、今回のような証言者の話を元にした絵画を見せたり話を伺うことはとても心に残ると思います。
- ・大変良い取り組みをされていますね！平和への思いが込められたよく考えられた充実した企画に、大分市からでも見に来て良かったと思いました。今の時代にとっても大切な内容だと思います。たくさんの方々と考えていきたいテーマですね。
- ・知るのが遅かったので最終日に来ました。
- ・高級料亭→大衆食堂になっていた話や、女学校の話、学校も短縮されたりしていたこと等、知らなかったことばかりでした。学ぶ場を作ってください本当にありがとうございました。

- ・戦争は絶対にやってはいけない事だと思った。
- ・昔の人はすごく痛い目にあっているんだなと思いました。
- ・動画は毎年同じものですか？最新の動画が見たい。
- ・普段の生活の中で知る事のない事実を絵と言葉で知る事が出来て良かったと思います。忘れてはならない出来事であり、これから先もあってはならないと思います。こういう場において知らせていく事はとても重要な事だと思います。ありがとうございました。
- ・戦争はしてはいけないと思いました。
- ・別府にとっては米軍キャンプが終わるまでの記録保存が大事だと思う。
- ・別府市内に今も住んでいる人たちが、こうやって話をしてくれるのはこれからも続けて欲しい。
- ・とても勉強になりました。朝ドラとかで、ある程度戦争については知ったつもりでいたけれど、サイレンでこの音はB29だ。みたいにならなくてわかっていたというのは初めて知りました。大分駅から海が見えたと聞いたことがあるけど、今では考えられなくて戦争は怖いなと思いました。
- ・とても大切で良い企画と思う。知らない事ばかりで地元の3名の声はとても勉強になった。子ども達にもっと知って欲しい。中学生など見せたい。存命の方の証言は大切で貴重と思う。
- ・今回は動画作成にかかわりをもてて良かったです。仏壇の金属は全部持って行かれました。私は運がよかったです。あと2年早く産まれていたら、学徒動員に行っていたから。本当にかわいそうだった。
- ・内容はとても良い内容でした。市民の多くの方に見てもらいたいです。恒松先生の名字が常松になってたり、インタビューの背景に塩月堂の紙袋が映ってたりしたのは残念です。
- ・（映像をみていて）戦争がなかったら別府も今とは違った発展をしていたらと思う。多くの人の命が奪われたという事実だけでなく、町・郡市の発展や家族の影もあつという間に奪われ、その後の文明にも多くの影響を与えたのだと感じました。平和を一瞬で奪うものは、なくさなければならぬと強く思いました。
- ・若者、学生にこの動画を見せてほしい
- ・老若の会社や意見もあるといいですね。
- ・ビデオを見て初めて色々な事を知りました。戦後生まれの私は親に話を聞いていたが、それ以上の苦しみや悲しみがあり、2度と戦争があつてはならない。世界のどこかで戦いがあるが、悲しいことです。若い方に見てほしい。
- ・こんなことがあるとは、思わなかった。
- ・時が過ぎれば過去であった出来事が何もなかったように今を生きる事はあつてはならない。皆が沢山知る事は必要である。

- ・水を求めている、自分の身を守りたい、じげんバクダンからいきのびたい。
- ・”8月は6日9日15日”こうした取り組みを続けていくことで確かめ合える平和の大切さ。特に次世代につなげている「高校生が描いたヒロシマ」これからもぜひ！体験者が高齢化していく中での貴重な活動、頭が下がります。取り組んでいただき心より「お疲れさま」と申し上げます。ありがとうございました。
- ・「継続は力なり」この取り組みは貴重です。ぜひ続けてください。最近、平和学習の取り組みが弱まっている気がします。（中学校の8.6）。「原爆パネルの貸し出し」だけでなく全学校への巡回公開ができるといいなと思います。
- ・毎年していただきたいです。子ども達に伝えていくために、とてもよい企画だと思います。特に戦争を生き抜いてきた方のお話は、わかりやすく伝わっていくと思いました。展示については大人の説明がないと無理かもしれません。原爆についての動画があると（見るのはつらいですが）いいかもしれません。
- ・別府の証人の方々の声がビデオで流れ戦争をより身近に感じられました。ありがとうございました。
- ・別府市の方のお話や昔の新聞など私たちが住んでいる身近な地名が出てきて、より戦争について深く考えることができました。我が子にとっても大変よい学習ができたと思います。機会をつくっていただき、ありがとうございました。
- ・もう少しPRして欲しい。知らない人多いと思う。
- ・ご苦労様です。大切な事だと思います。
- ・大学のキャンパスで大学と共同開催し、今の20代の人々に活動を広めてほしい。
- ・動画で証言を上映したのがとても良かった。別府関係の新聞の切り抜きも勉強になった。
- ・次の機会が継がれてゆくと良いと思った。ニュースで黒い雨裁判や世界の核廃絶条約への日本の不十分な対応など、まだまだ市民の（世論）後押しが必要だと思います。別府以外でも、出張展示をできればその力になると思った。
- ・目を背けたくくなるような現実が本当にこの日本で起こったのか何度聞いても信じられないが、被爆体験された方による高校生の絵はとても生々しく衝撃でしたが、絶対に繰り返してはいけないと思った。
- ・もっと別府の戦時中の資料が見る事が出来たら嬉しいです。
- ・映像内、視覚障害、聴覚障害のある方への心配りがあればいいなと思いましたが（一部ありましたが…）、ナレーション、テロップ（インタビューの方の所は聴き取りづらい所もあるし、全ての方に助かると思います。）あと、英語だったり、翻訳されているのもっと全ての方に良いと思います。